

## 所管事務調査報告書

令和5年12月11日

洞爺湖町議会議長 大西 智 様

総務常任委員会  
委員長 五十嵐 篤 雄

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

### 記

#### ○所管事務調査

- 1 調査事項 小学校・中学校の現況について
- 2 調査日 令和5年11月15日(水)・16日(木)・17日(金)
- 3 出席委員 五十嵐委員長、室田副委員長、小林委員、大久保委員、越前谷委員
- 4 説明員等 教育委員会 渋川教育長、教育推進課 高橋課長  
虻田小学校 横山校長、荒木教頭  
虻田中学校 鈴木校長、山本教頭  
洞爺湖温泉小学校 柴田校長、市嶋教頭  
とうや小学校 山下校長、田中教頭  
洞爺中学校 西村校長、古沢教頭

#### 5 調査結果

町内の小・中学校の現況などについて訪問調査を行いました。なお、各学校には事前に質問事項を提出し、当日説明を受けました。

##### ① 不登校の状況は。(事案があれば、その原因と対策及び近年の状況)

生徒・児童数の多い学校において、不登校に該当する事案があり、学力不振、集団への不適應など様々な要因が混在している。

スクールカウンセラーの活用や特別教育支援員による支援や指導、教師及び保護者との連携などにより改善に向けた取り組みを実施し、子供たちが安心できる学校づくりに努めている。

##### ② いじめの防止対策と現況は。(発生事案及び近年の状況)

各学校においては児童・生徒へアンケート調査を実施し、いやな思いをした事案についてもいじめと認知することとしている旨の回答があったが、重大となる案件は無いとのことである。教師による面談や指導に

より早期の解消を図るとともに、児童・生徒自身がいじめを防止するための活動なども行っている。

- ③ 本年の夏は猛暑でしたが、どのような対応をされましたか。また、今後に向けて要望したいことはありますか。

暑さ指数を基に、屋外活動や体育館での運動を控え、校舎内でも比較的涼しい教室で授業を行うなどの取組を実施。また、授業中におけるこまめな水分補給を行うとともに、塩分タブレットを常備するなどの対応を行った。

現在、各学校の保健室及び他教室1室へエアコンの設置がされたが、今後は、全教室への設置が望まれている。

- ④ コロナやその他の感染症により、学級閉鎖等が行われましたか。また、それによる学習への影響は。

2校程度で学級閉鎖はあったが、学習への影響は無いとのことである。

- ⑤ 学校図書の整備状況と児童・生徒の利用状況は。

図書の管理は、各学校の教師が行っているが専門的な知識も必要なことから苦慮されている。また、蔵書もかなり古いものがあり、その整理も必要とされている。

各学校においては、児童・生徒の積極的な図書利用に向け鋭意努力している。

- ⑥ 教職員の働き方がクローズアップされています。どのような問題があり、どのように解決すべきと考えますか。

I C Tの活用、ペーパーレス化、メール配信システムなどにより長時間労働の解消に努めている。また、部活動に係る日程の見直しなども行っている。

各学校では、様々な課題がある中、教職員が一体となり課題解決に向けしっかり取り組んでいることの説明を受けました。

総務常任委員会からの意見として、不登校においては、特別支援学級における対応の強化や不登校生徒個々への対偶のあり方なども今後検証する必要があると思われる。暑さ対策については、学校のみでの取組には限界があることから、全教室へのエアコンを設置し子供が快適に学習できる環境整備を進めることが重要と思われる。学校図書では、次年度に教科書が改訂になることから参考図書の整備が不可欠である。教職員の働き方改革については、全て改善されているわけではない、各学校で解決に向け取り組んでいるが教員不足も解決に至らない原因の一つと考えられる。また、洞爺湖温泉小学校においては、ポロモイスタジアムの利用者による車輛の路上駐車などが散見され危険な状態にあることから、解消に向け早期に取り組んでいただきたい。更に、学校のグラウンドにおいては、学校独自での整備に限界があることから、教育委員会における支援が必須となっている。